誘発脳波の解析

1-4) **グ**ランドアベレージを行う

収録時に作成された加算データ、もしくは再加算データについて、複数ファイル分の加算平均をしま す。

グランドアベレージを行うことによって、2回以上に分けて収録した同じ試行のデータを1つの加算デ ータにまとめることができます。

< 操作の流れ > 「ファイル」メニューの「グランドアベレージ処理」を選択する。 グランドアベレージする加算ファイルを選択する。 グランドアベレージ結果を保存する。

注: グランドアベレージを行う条件
 下記の3条件をすべて満たしている波形同士で、グランドアベレージを行うことができます。

 1.サンプリング周波数が同じであること
 2.データ時間が同じであること
 3.トリガ種類と、トリガからの抽出時間が同じであること

「ファイル」メニューの「グランドアベレージ処理」を選択する。



グランドアベレージする加算ファイルを選択する。 グランドアベレージするファイルを選択します。



同様にして、すべてのファイルをクリックし選択します。

グランドアベレージをチャネル番号順に行うか、同名チャネル毎に行うかを選択し、開くボタンを押します。

	最後に開くボタンをクリックします。
Internet Entrance Entrance Entrance Entrance Internet Internet Internet Internet Internet Internet Internet Internet Internet Internet	
************************************	グランドアベレージの方法を選択します。

タ時間 ここで グラン]とトリガ設定を確認することができます。 表示される 3 項目(サンプリング周波数・データ時間・トリガ設定)がすべて同じである波形 ドアベレージを行うことができます。
14400	Internet + - Bid D-
21152	
	••••••••••••••••••••••••••••••••••••
-	ファイル名 被験… 性別 年… サンプリング周波数 データ時間 トリガ設定 デモデータ… KISSE… 男 31… 1000 Hz 700 msec Pre 100 msec CNV-S KISSE… 男 20… 250 Hz 4000 msec Pre 400 msec デモデータ… KISSE… 男 31… 1000 Hz 700 msec Pre 100 msec ABR KISSE… 男 31… 50000 Hz 10 msec Pos 0 msec
	この3項目がすべて同じである必要があります。
	林索条件で絞る(A) 検索条件(S)
データできま	7が大量に管理されている場合は、「検索条件」ボタンを押すことで、表示されるデータを絞る す。 条件にチェックをつけ、「検索条件」ボタンを押します。
CNV-S デモデー: ABR	KLSSE 勇 21.0 250.1 Hz 4000 msec Pre 400 msec KLSSE 男 31 1000 Hz 700 msec Pos 00 msec KLSSE 男 31 50000 Hz 10 msec Pos 0 msec
	「検索条件を絞る」チェックをつけ、検索条件ボタンを押します。

校示条件						
▼サンガリング開始 ○ データの開催(0)	ET 0-0 1000	Hz				
F トリガ酸定① (* プリトリガロ) (* ポストトリガロ)	先頭	こチェックをつけ、	条件を入力し	ます。		
□ チャネル数(2) □ 基線算出(2)	് സ്.സ്.സ്.സ്.സ്.സ്.സ്.സ്.സ്.സ്.സ്.സ്.സ്.സ					
OK	442428					
	「絵本文社で、」	٤				
✓ 検索条件で絞る(A)					1 1 1 1	
 検索条件で終える(A) ケア11/20-1 (#8%- プデ11/20-1 (#8%- デモデータ、KISSE- ONV-S (KISSE- ABR (KISSE- KISSE- 		E表示するには、 E表示するには、 Exer J = 2 ⁻⁹² fill F-9/JBRZ 700 msec Pre 100 msec 700 msec Pre 100 msec 10 msec Pre 100 msec 10 msec Pre 100 msec	検索条件で絃	₹る」 チェックを	はずします。	
▼ 検索条件で級る(A) 条件を絞らう プデリン名 概要 デモデーター KISSE ABR KISSE 人	1	E表示するには、 TOO msec 10 msec なる」チェックをは	検索条件で約	える」チェックを	まずします。	

グランドアベレージの結果が表示されます。



作成したデータについて潜時や振幅差を算出することができます。詳しくは、「4 章 解析手順 1-2)加算データを 解析する」を御覧下さい。

注:グランドアベレージについて 「グランドアベレージ処理」では、母集団の重さについて考慮しません。 例:3 つのファイルについて、グランドアベレージを行う場合 (加算ファイルAのデータ + 加算ファイルBのデータ + 加算ファイルCのデータ)÷3を行い、 波形を描画します。

グランドアベレージ結果を保存する。

「ファイル」メニューの「名前をつけて保存」を選択します。

🔥 EPLYZER II – [EP22E.kca]									
	ファイル(圧)	編集(E)	表示⊙	コマンド(<u>C</u>)	加工(2)	<u>بر</u>			
	開((<u>O</u>) 閉じる(<u>C</u>))			Ctrl+O				
	名前を付けて保存(S)								
	インポート		45			۶.			

保存先を入力し、グランドアベレージデータを保存します。

